

令和2年度

入学試験 国語問題

注

- 解答はすべて解答用紙に記入すること。
- 問題用紙は持ち出さないこと。
- 字数制限のあるものは、原則として句読点、記号も一字に数えます（指示のあるものは除く）。

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私が自分自身で「美しい」を実感したのは、小学校に入る年の春でした。1 幼稚園に通っていた三月の、^①雛祭りの終わった頃だったと思います。

朝起きて、幼稚園に出掛ける前の時間、私は下駄を履いて庭を歩いていました。たいして広くもない庭に霜柱が立って、真っ黒な土の上を踏んで歩くと下駄の跡がついて、それがおもしろいので、一人で歩き回っていました。今から半世^Aも前のことです。

庭のはずれには何本かの竹が植えてあって、後一、二カ月もすれば根元から細い竹の子が生えてきます。「まだ竹の子って生えないのかな」と思って、私はその根元を覗^{のぞ}きました。a、そこに見たことがないものがありました。緑色の——まるで自分の指先のような形をした小さなものが、黒い土の中から顔を出しているのです。私はびっくりしました。「なんだろう?」
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽 㽾 㽿 㿀 㿁 㿂 㿃 㿄 㿅 㿆 㿇 㿈

竹取りの翁おきながかぐや姫の入っている竹を見つけた時は、2 そんな感じだったのではないかと思いました。土の中から出ている「光り輝く緑の指のようなもの」を見るのが、それ以来、私の朝と昼と、それから暇さえあればいつでも、日課のようになってしまいました。

私はそれを「美しい」と思い、どういうわけか唐突に、「これが自分だったらいいな」と思いました。どうしてだか分かりません。それを「きれい」と思うことと、「これが自分だったらいいな」と思うことが、いとも簡単に一つになってしまっ

す。
③ もうすぐ六歳になろうとする五歳の私は、自分のことをそんなにも美しいものだとは思っていません。だから、「これは自分だ」と思うことにためらいがあります。だから、「これが自分だったらいい、自分がこんなにも美しいものであったらいい」と思うのです。その水仙の芽は、五歳の私にとって、「希望」という言葉の持つ輝きと同じ質の美しさを持っていました。もちろん、五歳の私は「希望」などという言葉はまだ知ってはいませんが、その言葉を知っていたなら、「希望というのは緑色に輝くもので、地面の中から生えて来るものだ」とカイD 釈Dしてしまっていたでしょう。

なんでそんなことを感じていたのかと言えば、その頃の私が「自分はもうすぐ小学生になる」ということを強く意識していたからでしょう。その頃、家が改築して新しくなりました。その他にもいろいろの環境の変化がありました。「自分は小学生になる」は、「自分も小学生になる」で、それは更には「自分は大人になる」でもありました。そのことが輝かしく思えたから、「小学生になるんだ!!」と思っていたのです。でも、ことはそう単純じゃありません。未来の希望に燃えているだけの子供、だったら、庭の隅に芽を出した水仙の緑を 3 見てなんかいいでしょうし、「これが自分だったらいいな」などという複雑なことも考えないでしょう。それをするのは、どこかに「不安」があるのです。それを「美しい」と実感させるような人間関係の幸福があつて、と同時に、その美しさを「自分の支え」にしなければならぬような「不安」も、その頃の私にはあつたということでした。

その内に私は、それが「水仙の芽」であるということと、叔母だったか祖父だったかに教えられます。水仙がどんな花かと

いうことを知っている私は、「自分の家にもあ、あ、う、花が咲くんだ」と思います。私の家の庭は祖父の趣味で作られたもので、私の好きな草花がありません。江戸か明治の頃の回遊式庭園のミニチュアのようなもので、石と葉物の緑が中心です。子供の私には **4** おもしろくありません。「花が好き」というのは、「近所の家の庭に咲いている花が好き」という情けないもので、そんな自分の家の庭に「自分が好きであるような水仙の花が咲く」というのは、別種の喜びでもありません。そういう現実的な側面も加わって、私は「早く咲かないかなア」と思って、四、五センチの大きさに伸びた水仙の芽を、変わることなくじっと見続けていました。

b、その内に妙な具合になって来ました。五センチが六センチになり、七センチ、八センチになって来た水仙の芽は、どうにも美しくないので。球根の中から生まれて瑞々しく輝いていた「芽」が、成長して「葉」であることを歴^Eゼンとさせて来るにつれて、初めの「瑞々しい輝き」をなくしているのです。それは、「花を咲かすことを忘れてほんやりしているだけのマヌケな水仙」にしか見えないのです。私はなんだかいやな気になりました。それは、「お前の未来はこんなにパツとしないつまらないものだ」と言われているようなもんだからです。しかし私は、昔から自分の目で見たものをあまり信じないポーツとした人間なので、それをもまた「なにかの間違いではないか」と思います。「こんなにマヌケな水仙でも、いつかはよその家の庭にあるようなきれいな花が咲くんじゃないか……」と、いささか弱気になります。よその家の庭ではもう水仙の花が咲いているのに、日当たりの悪い私の家の庭の水仙には、一向にその気配がないから、なおのことです。

がしかし、天も見捨てたものではなくて、私の家の庭の水仙にも、**5** 蓄^{つほみ}の観察される日が来ます。霜柱があんまり立たなくなつた庭の隅で、私の熱い待望の日々がまた始まるのですが、結果は無残なものでした。^④

私の知る水仙の花は「白い花びらの中心に黄色い筒が出ている」です。私の知る水仙の花は、あくまでも「白いもの」なのですが、庭の水仙の蓄は白くなりません。どういうわけか、どんどん黄色くなって行きます。水仙の花が「咲いている」という状態は知っていても、「咲くようになるまで」を知らないでいた私は、「白くなるためには、まず最初に黄色くなる——それが水仙の花である」などと勝手に信じ込もうとしましたが、哀れな私の思惑とは別に、我が家の水仙はどんどん黄色くなります。

そしてある朝、蕾の中から花びらが現れました。

X

私が期待していたのは「白のラッパ水仙」であつたのに、庭に出現したのは、それとは違う「黄色の八重咲きの水仙」でした。ただ黄色い花びらがゴチャゴチャしているだけで、中心の「ラッパ」に当たる部分がありません。その花は私にとって、ちっとも美しくないのです。私の願いは、

Y

衝き崩されてしまいました。

(橋本治『人はなぜ「美しい」がわかるのか』より)

※ 回遊式庭園：日本庭園の形式の一つ。園内を回遊して鑑賞する庭園。

問一 傍線部A～Eのカタカナを漢字で表記したとき、同じ漢字を使うものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A 半世キ

- ア 絶好のキ会をのがす
イ 祖母のキ寿を祝う
ウ 母校にキ付をしよう
エ 日本書キをよむ

B 錯カク

- ア 内カク改造計画
イ 甲カク類アレルギー
ウ もうカク悟を決めた
エ カクの違いを見せつける

C 健ザイ

- ア 別荘が点ザイしている
イ 百年に一人の逸ザイ
ウ 文化ザイをまもる
エ 無ザイだと信じる

D カイ釈

- ア 今日のカイ速に乗れた
イ カイ数券を買う
ウ 自カイの念を込めて
エ カイ説をしっかりと聞く

E 歴ゼン

- ア 一日一ゼン
イ 断ゼン認めない
ウ 墓ゼンに供える
エ 座ゼンを組む

問二 傍線部①「雛祭り」とありますが、日本の年中行事について説明した次の文章の空欄に入る語として適当なものを後の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上使用しないこと。)

1 は季節の節目に、無病息災、豊作、子孫繁栄などを願い、お供え物をしたり、邪気をはらったりする行事です。宮中行事でありましたが、現在は一般的に暮らしの中に根付いています。雛祭りは上巳じょうし、桃の 1 と言われま

す。他にも七月は 2、そして九月は 3 と言われ、4 の 1 とも呼ばれています。

ア 七夕 イ 菊 ウ 節句 エ 端午 オ 重陽

問三 1 1 5 に入る語として適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上使用しないこと。)

ア じっと イ ついに ウ おそらく エ まだ オ あまり

問四 a b に入る語として適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア なぜなら イ すると ウ すなわち エ ところが

問五 傍線部②「その光景」とは何を指しますか。これより前から一文で探し、初めの三字を抜き出して答えなさい。

問六 傍線部③「もうすぐ六歳になろうとする五歳の私」について説明した次の文章の空欄に入る語句として適当なものを、本文中から指定された字数で抜き出して答えなさい。

水仙の芽の見せる美しさを **1 (五字)** にしなければならぬような **2 (二字)** が、その頃の私にはあった。また、自分自身を水仙の持つ美しさに重ねることは **3 (四字)** を感じている。その一方で、水仙の持つ美しさにあこがれも持つ。それは水仙の美しさと **4 (二字)** を重ねていたからであって、その当時の様々な **5 (五字)** が「私」に影響を与えていたと言える。

問七 傍線部④「結果は無残なものでした」とありますが、どのようなものでしたか。本文中から十字で抜き出して答えなさい。

問八 **X** に入るように次のア～オを正しく並べなさい。

ア 一日二日たって、その花は真っ黄色になりました。

イ 期待していたものとはまったく違うものが出現して、私は悲しくなりました。

ウ 「自分の家は呪われているからこういうことになってしまうのだ」と思っていたいほどでした。

エ 「わー、咲く」と思って、私は驚喜しました。

オ その現れ出た花びらが全然白くなくて、ただの真っ黄色であるという事実も、「まず黄色くなって白くなる」という勝手な理論をあてはめて喜んでいました。

問九 **Y** に入る語句として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 不機嫌にも イ 不親切にも ウ 不条理にも エ 不愉快にも オ 不思議にも

問十 本文の内容と合致するものとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 私の家の庭にはいつもたくさんの花が咲いていて、水仙はその一つだった。

イ どんどん大きく成長した水仙は美しく、私はとても嬉しかった。

ウ 私は五歳の頃、もうすぐ小学生になるという未来の希望に燃えているだけの子供だった。

エ 庭に咲いた水仙の花は、私が期待していたものとは全く違うものだった。

オ 私は、黒い土の中から出てきた竹の子の瑞々しさから目が離せなかった。

【二】 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

むかし、男ありけり。身はいやしなから、母 I 宮なりける。その母、長岡といふ所にすみたまひけり。子は京に宮仕へしければ、まうづとしけれど、しばしばえまうでず。② ひとつ子にさへありければ、いとかなしうしたまひけり。さるに

II ばかりに、^{*}とみのこととて御文あり。

III て見れば歌あり。

A 老いぬればさらぬ別れのありといへばいよいよ見まくほしき君^{きみ}かな
かの子、^Cいたうち泣きてよめる。

B 世の中にさらぬ別れのなくもがな千代^{ちよ}もといのる人の子のため

〔伊勢物語 第八十四段〕より

※ 身はいやしなから…身分は低いながら

とみのこと…急ぎのこと

問一 傍線部A～Cおよび次の1～3の歴史的仮名遣いの読み方を現代仮名遣いに改めなさい。(傍線部分をすべて書くこと。)

- 1、ひとごゑ 2、てうづ 3、きのぶ

問二 I に入る語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。(文末は連体形です。)

- ア なむ イ ばかり ウこそ エ まで

問三 傍線部①「えまうでず」、③「かなしうしたまひけり」について次の質問に答えなさい。

1、主語を次の中から選び、それぞれ記号で選びなさい。

ア 母 イ 男 ウ 作者 エ 長岡

2、傍線部③の現代語訳として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア たいそうお悲しみになられていた。

イ たいそうおかわいがりなされていた。

ウ たいそうお喜びになられていた。

エ たいそうかわいらしい様子でいらつしやった。

問四 傍線部②「ひとつ子にさへありければ」の現代語訳として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ひとつ子供にあたえたので

イ まだ一歳の子供だったので

ウ ただ一つの子供の願いだっただけ

エ ただ一人の子供でもあったので

問五 Ⅱには十二月の異名が入ります。それを漢字で答えなさい。また次にあげた月の異名を後のの中から選び、それぞれ

記号で答えなさい。

1、二月 2、十一月

ア 睦月 イ 如月 ウ 葉月 エ 霜月

問六 Ⅲ に入る語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア おどろき イ いやがり ウ もてなし エ ちぎり

問七 傍線部④「さらぬ別れ」の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 離縁 イ 引越し ウ 死別 エ 絶交

問八 Bの和歌に込められた感情として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 喜び イ 悲しみ ウ 怒り エ 祈り

問九 この作品は平安時代に成立しました。この作品と同時代に成立した作品を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 方丈記 イ 発心集 ウ 枕草子 エ 平家物語

【三】 次の問いに答えなさい。

問一 次の慣用句の空欄に入る体の一部を漢字で答えなさい。また意味として正しいものを後の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上使用しないこと。)

1 を引っぱる 2 を借りる 3 を長くする 4 が低い

ア 待ち遠しく思う

イ 他人のじゃまをする

ウ 力の勝った相手に積極的に戦いを挑む

エ 他人に対してへりくだる

問二 次の文の傍線部には漢字の誤りがあります。正しい漢字に直して答えなさい。(傍線部分をすべて書くこと。)

1 異句同音で承認された。 2 一身同体で試合に臨む。

3 週間誌の発売日。 4 無我無中で取り組む。

問三 次の四字熟語の空欄に入る漢字を答えなさい。

1 我田 水

2 危機 一

3 大器 成

4 日進月

問四 次の1～4に使われている修辞法として適当なものを後の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上使用しないこと。)

- 1 本当においしいね、このチーズケーキは。
- 2 私は社会の歯車の一つにすぎない。
- 3 行け行け、どんどん攻めろ。
- 4 まるで針のような冬の雨が私の腕を濡らした。

ア 直喩 イ 隱喩 ウ 反復法 エ 倒置法

問五 次の文の傍線部の品詞と同じものを後の中から一つ選び、記号で答えなさい。また、その品詞名を漢字で答えなさい。
特別な思いで試合に挑んだ。

ア 美しい絵画

イ 君、廊下は走るな。

ウ 図書館は静かだ。

エ 大きな花